FUYO LEASE GROUP

2024年12月23日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
（コード番号：8424 東証プライム）
代表取締役社長 織田 寛明

三井住友銀行をアレンジャーとする「サステナビリティ・リンク・ローン」の契約締結について

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、株式会社三井住友銀行（東京都千代田区、頭取 CEO 福留朗裕）をアレンジャーとする、シンジケーション方式による「サステナビリティ・リンク・ローン」（以下「本件」）の契約を締結しました。

本件は、芙蓉リースのサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「ＳＰＴｓ」）を設定し、貸出条件とＳＰＴｓに対する芙蓉リースのパフォーマンスとを連携させることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動の実践および経済成長への貢献を目指すものです。

芙蓉リースは中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、重点的に取り組む非財務課題について定量目標を定め、財務（企業価値）・非財務（社会価値）両面の実現を等しく追求しています。かかる戦略を資金調達面から支えるものとして、非財務目標全体を反映した「サステナブルファイナンス・フレームワーク」※1を策定しており、このフレームワークよりＫＰＩを選択して資金調達を実施します。本件においては、ＫＰＩのうち環境および人的資本にかかる重要課題である「CO_2削減貢献量」および「人材育成関連費用（単体）」を選択します。

尚、このフレームワークは国際的なイニシアティブや日本が定める各種原則、ガイドライン等への適合性について株式会社日本格付研究所（ＪＣＲ）から第三者意見※2を取得しています。

芙蓉リースグループは、ＣＳＶ（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとしての持続的な成長を目指しています。ＥＳＧファイナンスを通じて課題取り組みへのコミットメントを明確化し、ステークホルダーの皆さまとの継続的なエンゲージメント（建設的な対話）を進めてまいります。

＜案件概要＞

契約締結日：2024年12月23日

実行予定日：2024年12月25日

組成金額：300億円

アレンジャー：株式会社三井住友銀行

エージェント：株式会社三井住友銀行

ＳＰＴｓ：

①2026年度（2027年3月期）のCO_2削減貢献量実績が50万t-CO_2/年以上

②2026年度（2027年3月期）の人材育成関連費用（単体）が2021年度対比300%以上

貸付人：株式会社足利銀行、株式会社SBI新生銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社山陰合同銀行、株式会社清水銀行、株式会社十八親和銀行、株式会社荘内銀行、株式会社常陽銀行、株式会社南都銀行、株式会社百五銀行、株式会社福岡銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社横浜銀行（五十音順）

※1：芙蓉総合リース「サステナブルファイナンス・フレームワーク」
https://www.fgl.co.jp/sustainability/esg/pdf/sustainable_finance.pdf

※2：株式会社日本格付研究所(JCR)第三者意見
https://www.jcr.co.jp/download/f7d5e9dbe788c49b8c006a30de4bc78a48caa4333a6d6ad68b/23d0627.pdf （2023年9月）
https://www.jcr.co.jp/download/da73f2a6049f8677fff52afaf63cf4f6b88b45857d685aa775/24d0652_3.pdf （2024年8月）

以上

お問い合わせ先
芙蓉総合リース株式会社　コーポレートコミュニケーション室　（担当）山﨑
電話番号　03（5275）8891　　URL：https://www.fgl.co.jp/